

エゾシカワーキンググループの経過報告等

1. 令和4年度エゾシカ WG の開催概要

- ・ 第1回会議 令和4年(2022年)7月4日(月)斜里町産業会館
WG 開催後、7月5日(火)午前に現地視察を実施

2. 主な議事内容

令和4年度の実行計画案に関して、WG では特に確認個体数が増加している知床岬地区での対策方針を中心に議論しました。主な意見・指摘事項は以下のとおりです。

2022(令和4)シカ年度実行計画案について

【WG での主な意見・指摘事項】

- ・ 昨年度行われた航空カウント調査において、知床岬地区の確認頭数が大幅に増加したことを受けて、この数年は十分な捕獲成果が上げられていない現状に照らし、目標を高め設定した上で、様々な手法を取り入れて捕獲を継続するよう意見がありました。

2019シカ年度：16.1頭/km²、2020シカ年度：58.2頭/km²、2021シカ年度：78.64頭/km²

【科学委員会での主な意見・指摘事項】

- ・ 特に意見はありませんでした。

第2期長期モニタリング計画について

【WG での主な意見・指摘事項】

- ・ 気象観測に関する項目については、エゾシカの個体数変動や植生の変化など陸域生態学の観点からモニタリングしていくべきであり、現時点ではエゾシカ WG の担当で良い。ただし将来的には、陸域と海域双方の視点から遺産地域全体の気候変動の影響を総合的にモニタリングしていくために、気候変動 WG の設置などを別途検討する必要がある、との意見がありました。

【科学委員会での主な意見・指摘事項】

- ・ 気候変動に関しては、当面はエゾシカ WG での検討対象とするものの、生態系全般に関係するものであり、将来的には総合評価を行うタイミングなどにおいて別途専門の WG の立ち上げ等も検討する必要がある、との意見がありました。

3. 令和4年度エゾシカ WG に関する今後の予定

第2回エゾシカ WG

令和4年(2022年)11月30日(予定)

以上